

社員からの相談対応にお悩みの方へ

ハラスメント相談員 養成講座のご案内 (2026年開催)

一般社団法人日本ハラスメントリスク管理協会
代表理事 金井絵理



この講座が対象にしている方

- ・ ハラスメント相談員となった人事やコンプライアンス部門の方
- ・ 部下からのハラスメント相談にどう答えたら良いかと悩む管理職の方
- ・ ハラスメント相談対応を顧問先に依頼された社労士の方
- ・ ハラスメント相談ならではの配慮ポイントを知りたい心理職の方
- ・ その他、ハラスメント相談の対応にご興味のある方

上記の皆さんは、このような問題を感じていませんか？

- ・ どんな相談が来るのか、対応できるか不安
 - ・ 本などで得た知識はあるが、実践したことがない
 - ・ ハラスメントの相談に特化したノウハウを学ぶ機会がない
 - ・ 相談を受け続けると、自分のメンタルが疲弊しそうで不安
- など



- **相談対応の基礎を体系的に学べる**

対応には「品質管理」が必要です。いつでも品質が良い対応をするためには理論や体系を学ぶことが必要です。座学による知識をインプットした後、学びを応用し模擬面談を体験します。

- **多様な考えを持つ人からの訴えに対応する力を得る**

ハラスメントの被害にあった方だけではなく、正当な指導に対して「ハラスメント」と訴える人への対応方法を学びます。また、多様な相談を受けることによるご自身のメンタルの保ち方についても学びます。

- **相談のプロに助言がもらえる**

講座受講後、現場で対応が困った場合は講師からアドバイスを得ることが可能です。

＊個別相談はオプションとなります

	内容	成果
1日目 13:00 ～18:00	- ハラスメント防止のための措置 - ハラスメント相談窓口の役割と目的 - 初期対応の心得 ＊ワークやロールプレイを活発に行いながら進めます	- 相談者の意向に沿った上で、聴くべきポイントを整理できるようになる - わざとらしく・ぎこちなくならない聞き方の方法がわかる - 一次対応（相談を受ける）の方法がわかる
2日目 13:00 ～18:00	- 相談員のあなたをケアする - 広く相談に応じること - 相談窓口の周知方法 ＊ワークやロールプレイを活発に行いながら進めます	- 自分自身のメンタルダウンやトラブルに巻き込まれないためのコツがわかる - ハラスメントかどうか迷う相談を受けたときの対応例がわかる - 相談窓口を多くの社員に使ってもらう方法がわかる

すべてオンライン（zoom開催です）

カリキュラム詳細（1日目）

時間	実施すること	詳細
13:00～13:10	オリエンテーション	受講時の注意、2日間の講座の流れ について説明
13:10～14:30	講義①	・法で防止義務が定められている各種ハラスメントの理解 ・企業に求められる防止措置 ・相談の種類（内部と外部/一次対応と二次対応）
14:30～16:30	講義②	・相談の受け方の流れを理解する（プライバシー保護・時間管理・相談者の意向の確認・相談後の動き）
16:30～17:30	ロールプレイング①	相談者/相談員/観察者 の役割体感ワーク（ロールプレイング）
17:30～17:50	まとめ	・振り返りのワーク
17:50～18:00	質疑応答など	・1日目を通しての質疑応答 ・2日目の案内

1時間に1回程度休憩をはさみます すべてオンライン（zoom開催です）

カリキュラム詳細（2日目）

時間	実施すること	詳細
13:00～13:15	チェックイン	1日目の振り返り・気づきの共有
13:15～14:15	ロールプレイング②	相談者/相談員/観察者 の役割体感ワーク（ロールプレイング）
14:15～15:15	ロールプレイング③	相談者/相談員/観察者 の役割体感ワーク（ロールプレイング）
15:15～17:20	講義	・相談員の心を守るには ・相談のルールを見直す ・ハラスメントかどうか微妙な相談への対応 ・相談窓口の設置と周知
17:20～17:40	まとめ	・振り返りのワーク
17:40～18:00	質疑応答など	・講座を通しての質疑応答 ・修了テスト、認定証発行の案内 など

1時間に1回程度休憩をはさみます すべてオンライン（zoom開催です）



講師

一般社団法人 日本ハラスメントリスク管理協会
特任講師 平澤 知穂

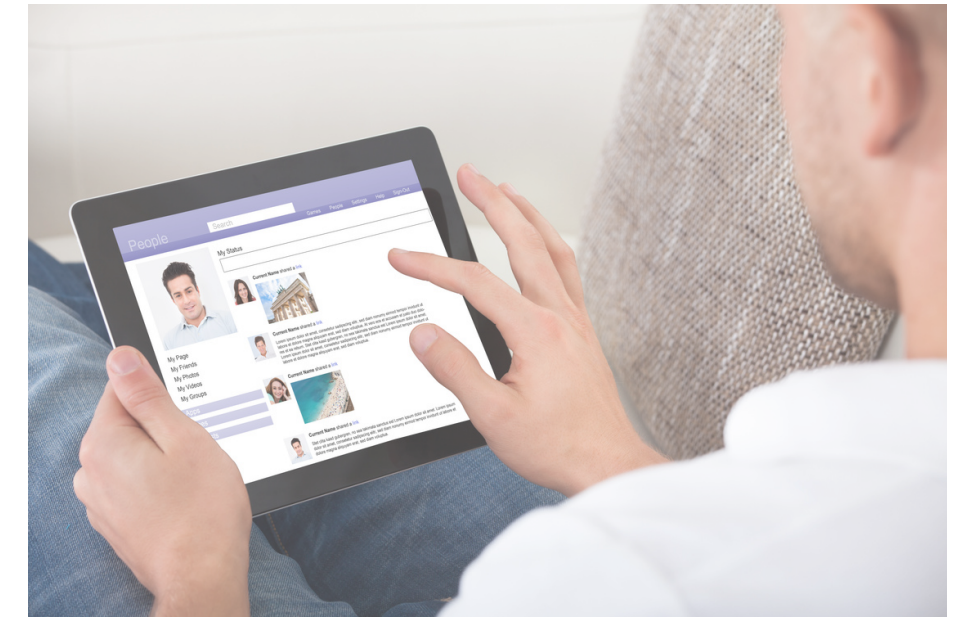
2000年にコーチとして独立、研修講師として活動開始。

2つの大学で通算14年間大学非常勤講師を務める。

企業や自治体、医療法人などにおいてハラスメント防止の活動を行い、2022年には個人のハラスメント年間相談対応が600件を超えた。厚生労働省の設置するハラスメント相談窓口や、法務省の刑事施設における矯正教育関連プログラムのファシリテーターを経験している。

「オフィスコミュニケーショントレーニング」2014年出版（改訂版2018年出版）,ナカニシヤ出版
産業カウンセラー・上級ハラスメントマネージャー・BRA・全米NLP協会NLPプラクティショナー認定・日本NLP協会
NLPプラクティショナー認定・LABプロファイル プラクティショナー認定

養成講座修了後は、以下のことをサポート致します
(強制するものではありません、ご希望の方は活用ください)



【悩み相談】

- Facebookグループを作成し、グループへ投稿（公開質問）を頂けると協会・講師陣が回答します

*相談時は個人情報が特定されないようご配慮いただきます。

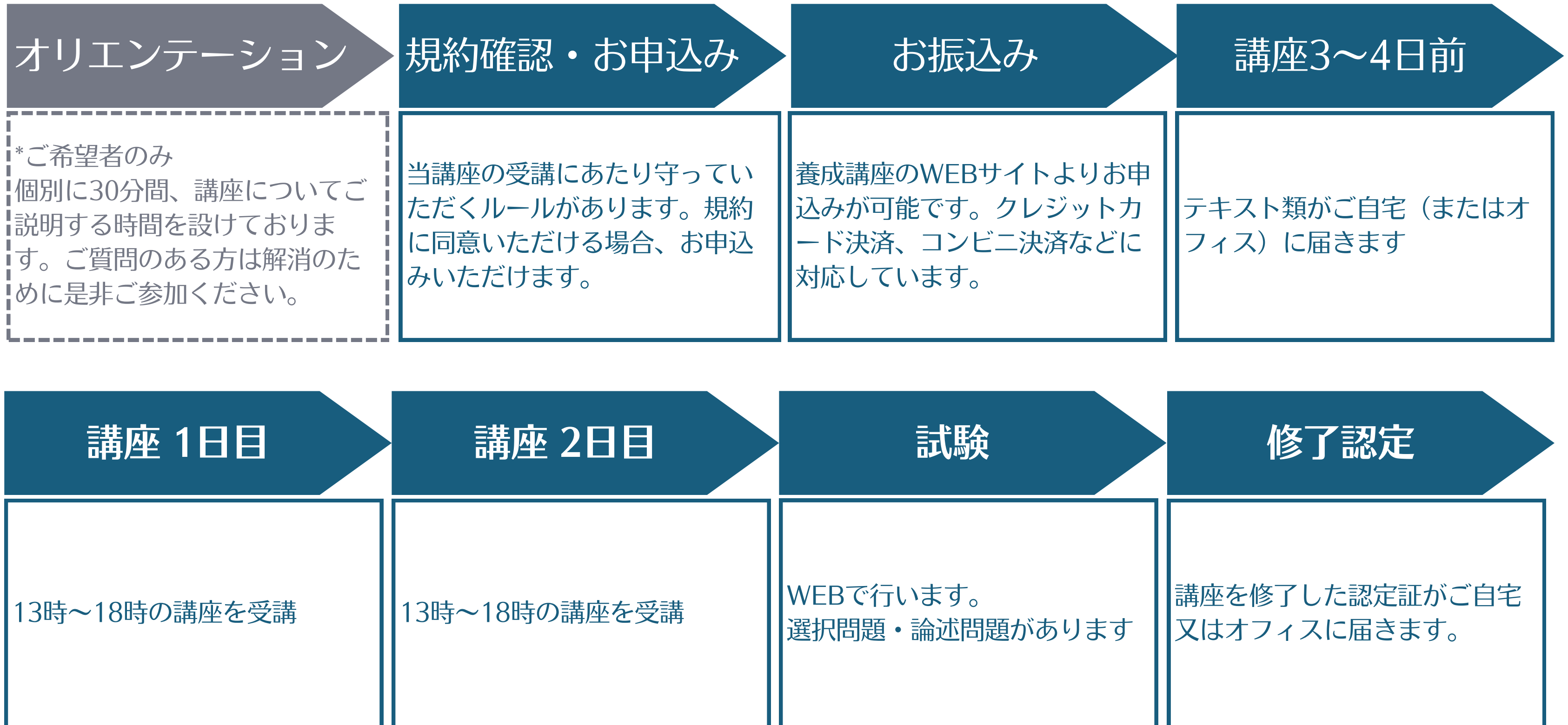
【仲間作り】

- Facebookグループにて同じ志を持った仲間との交流を促進します
- 年に複数回、勉強会を開催し、交流の場を設けます

【知識のアップデート】

- 復習受講が何度でも可能です
- 講師より毎月相談員としての知っておきたい知識をまとめたコラムをご案内、スキルアップにお役立ていただけます

お申込みから受講、認定までの流れ



通常、研修1日目から修了認定まで約1か月かかります。

■受講費用

80,000円（税込88,000円）

■講師による個別フォローアップ

1回当たり：6,000円（税込6,600円）

※事前のお支払いとなります。企業派遣の方に限り、請求書払いを承っております。

各回最小開催人数は2名、最大開催人数は24名です。

*費用は2027年より改訂します

第09回	02月04日 (水) /05日 (木)
第10回	05月19日 (火) /20日 (水)
第11回	07月15日 (水) /16日 (木)
第12回	09月10日 (木) /11日 (金)
第13回	11月10日 (火) /11日 (水)

*すべての日程は13時～18時開催
各回の締切は、講座1日目の8日前

よくある質問

Q：カウンセリングについて学びますか

A：相談対応（一次対応）はカウンセリングとは異なります。

「いかに、ハラスメントの解決につなげるか」に焦点を当てたトレーニングであるため、カウンセリングや心理学を広く学ぶものではないです。

Q：加害者対応について学びますか

A：この講座では相談者への対応を学びます。加害者の対応よりも難しいのが「相談者対応（一次対応）」です。

適切な一次対応をすることで、後の加害者（行為者）対応などもスムーズに進めることができます。

もし、加害者対応について実務を進める上で困りごとがあれば、講師に個別相談をすることが可能です。

＊個別相談はオプションとなります

Q：オプションのフォローアップはどこまでしていただけますか

A：1回当たり、メールの場合は2往復まで、オンラインの場合は1回40分までです。

Q：復習受講は費用がかかりますか？

A：費用は発生しません。何度でもご受講が可能です。

Q：社労士や企業の人事などではないのですが、この資格をもとに、企業に対して相談窓口を請け負うビジネスを行っても良いのでしょうか。

A：「相談窓口担当の養成」をビジネスにすることは協会として認めておりませんが、請け負うことはご本人の判断にお任せしております。

ただし、ビジネス上起きたトラブルなどに対して、当協会は責任を負いかねます。

お問い合わせ

本資料に関するお問い合わせは、下記宛先までお願いいたします。

運 営 : 一般社団法人日本ハラスメントリスク管理協会

メー ル : info@harassment-rma.jp

問合フォーム : <https://harassment-rma.jp/contact/>

所 在 地 : 東京都千代田区九段南一丁目5番6号 リそな九段ビル5F

オリエンテーションをご希望の方はこちら
<https://meetings.hubspot.com/eri-kanai>